

～地域との共生を求めて～

全国高校生 農業 アクション大賞

参加グループ募集!!

(学校を通じてWebから応募してください!)

全国高校生 農業アクション大賞

検索

6月30日(月)締切!

◎認定15グループに活動支援金**20万円**を贈ります。

◎さらに3年目の「大賞」グループに奨学金**50万円**、
「準大賞」グループに奨学金**20万円**を贈ります。



地域のためにがんばる
農業高校生を
応援します!



農業高校などの高校生たちがグループで取り組む

農や食に関する課題研究を支援します。

地元の農家ら生産者、JA、事業所、NPO、行政機関など
地域と連携した3年間の活動計画を募集します。

主催：全国農業協同組合中央会、毎日新聞社

協賛：全国農業協同組合連合会

後援：農林水産省、文部科学省、全国農業高等学校長協会、東京農業大学

応募要項は
最終ページへ

3年 にわたる活動を支援！



3カ年度を単位にした取り組みを募集し、優れた活動計画の**15グループ**を「認定グループ」として選出。活動支援金**20万円**を助成します。さらに3年目には、認定15グループの活動実績を審査し、「大賞」や「準大賞」を選んで奨学金を贈ります。

応募開始

地域と連携した農や食に関する3年間の活動計画を応募。アイデアや計画立案を文章で提出してください。

書面審査

応募書類を元に審査。認定15グループが選ばれ、支援金20万円が贈られます。

大賞審査

計画を実践する過程での創意工夫や試行錯誤が試されます。公開プレゼンテーションの形で取り組みを発表。大賞は50万円、準大賞は20万円が贈られます。

活動テーマは自由！

2025年度～2027年度の3年間の活動計画を策定ください。地域やJAと連携した、農や食に関する課題研究などの取り組みで、テーマ・課題は自由です。クラブ活動、学科・コースの活動を含みます。未発表・既発表を問いません。（2024年度以前の活動実績は、審査では参考として取り扱い、認定グループに選ばれた場合は支援決定後の3年間の取り組みを評価します。学校農業クラブ大会などの他事業への応募内容との重複も可能です。）



とくに、地域の農業が抱える
生産基盤の弱体化
(生産者の高齢化、減少など)を
解決する取り組みなどを募集します。



栽培技術の改善／
農産物の品質向上



消費者交流／食育／
地産地消



2024年度 第8回 認定15グループ 2026年度までの3年間の取り組みを評価して大賞を贈ります！

北海道真狩高等学校

園芸分会
北海道版リジェネラティブ農業実証試験
～マメ科緑肥作物を用いた不耕起栽培～



北海道帯広農業高等学校

養豚分会2年生
Well PlinGプロジェクト(ウェルビーイングプロジェクト)
～関わるすべての幸せを追求し、よりよい養豚を実現する～



秋田県立金足農業高等学校

生活科学科ハーブ班
カミツレで活きる、カミツレと生きる
～秋田カミツレ物語～



福島県立修明高等学校

地域資源科農業資源プロジェクト班
地域をつなぐ美土楼(ミツ)プロジェクト
～豊かな土を生み出す土壌動物との共生を目指して～



群馬県立勢多農林高等学校

Patisserie SETANO
(パティスリーセタのう)
味噌・醤油アンバサダーとしての挑戦



群馬県立利根実業高等学校

森林科学部
放置竹林の夢
～無価値からの挑戦～



福井県立福井農林高等学校

生物生産部「トマト開発グループ」
新たなブランドトマトを
～栽培技術の検証とコスト削減～



愛知県立猿投農林高等学校

作庭チームSAKUR☆
地方創生・稼げるまちづくり
～地元資源を活用したランドマーク～



三重県立伊賀白鳳高等学校

サステナブルカブトムシ
～産業廃棄物でまちおこし～
サステナブルカブトムシ～産業廃棄物でまちおこし



滋賀県立長浜農業高等学校

草花分野
花育の取り組み



島根県立松江農林高等学校

サツマイモ無病苗チーム
江戸時代のサツマイモを現代に



山口県立大津緑洋高等学校日置校舎

畜産専攻班
What's Japanese polled?
～無角和種の保存・普及プロジェクト～



愛媛県立西条農業高等学校

環境工学科千町棚田研究班
つなぐ棚田遺産
～千町棚田を守れプロジェクト～



愛媛県立上浮穴高等学校

くまもるず
天空の郷に伝わる地大豆・地雑穀の継承と普及
～甕れ!地域資源復活プロジェクト～



宮崎県立高鍋農業高等学校

演習林復活プロジェクトグループ
甕れ!演習林プロジェクト
～里山の恵みを金にしろ!～



2024年度 第6回 大賞、準大賞！

山形県立置賜農業高等学校

置農食愛プロジェクト

置農食愛プロジェクトが取り組む
こども農園と子ども食堂の活動

大賞
受賞

「こども農園」の収穫を喜ぶ親子と生徒たち



北海道岩見沢農業高等学校

農業科学科SS班

醸造用ブドウ栽培活性化プロジェクト
～農業高校生だから出来ること～

準大賞
受賞

醸造用ブドウ「ピノ・ノワール」の収穫



愛媛県立南宇和高等学校

河内晩柑救い隊「平山軍団」

高校生がつなぐ持続的な河内晩柑栽培
～河内晩柑低樹高化プロジェクト～

準大賞
受賞

低樹高化した木の高さを測定



学 校 訪 問

2025年2月27日

審査委員長の尾木直樹さんが
第6回大賞を受賞した
山形県立置賜農業高校を訪問しました。



ある食品加工室や冬咲きダリアの栽培現場などを回りました。生徒たちは児童への「食育」の一環で公演してきた人形劇と紙芝居について説明し、尾木さんも一緒に人形を動かして楽しい時間を過ごしました。

プロジェクト
メンバー9人
が尾木さんを
迎え、校内に



応募要項

◆応募締切

2025年6月30日(月)

◆募集内容

2025年度～2027年度の3カ年の活動計画。地域やJAと連携した、農や食に関する課題研究などの取り組みで、テーマ・課題は、自由。クラブ活動、学科・コースの活動を含みます。未発表・既発表は問いません。(2024年度以前の活動実績は審査では参考として扱います。学校農業クラブ大会など他事業への応募内容との重複も認めます。)

◆応募資格

農業高校(農業系学科のある高校などを含む)の生徒グループ。学年横断のグループ可。3年間の活動期間中、卒業や新入に伴うグループメンバーの入れ替わりも認めます。構成人数は問いません。同一校からの応募数の制限はありません。※複数校にまたがるグループは対象外です。

◆応募方法

WEBサイト(<https://www.mainichi.co.jp/event/nou-act/>)の応募フォームから担当教員を通じてご応募ください。なお、応募の資料やデータについては、主催者による使用・公表を承諾するものとします。

◆審査方法

今年度認定グループの審査は審査員による提出物の審査。2年後の大賞・準大賞の審査は審査員による提出物、および公開プレゼンテーションの審査。詳細はホームページの「審査と支援」をご確認ください。

◆結果発表

- ◎認定15グループは2025年9月に毎日新聞朝刊、およびホームページで発表。
- ◎大賞、準大賞などは2027年11月の審査会終了後、会場にて発表。

◆表彰内容

認定グループ(2025年度): 認定15グループ/支援金20万円、認定証、副賞
大賞・準大賞(2027年度): 大賞1グループ/奨学金50万円、賞状、記念品
準大賞2グループ/奨学金20万円、賞状、記念品

◆大賞審査・表彰式

2027年11月(東京都)にて開催予定

◆審査委員

- 尾木 直樹さん(教育評論家、法政大学名誉教授)＝審査委員長
川瀬 良子さん(タレント)
上岡 美保さん(東京農業大学副学長)
一瀬 裕一郎さん(農林中金総合研究所主事研究員)……ほか

尾木ママに会える!!



学校を通じてWebから応募してね!



詳細は

全国高校生 農業アクション大賞

HPをチェック!

応募に関する
問い合わせ先

「全国高校生 農業アクション大賞」運営事務局(毎日新聞東京本社 事業本部内)
Tel:03-3212-0190(平日10時～17時) メール:nou-act@mainichi.co.jp



このQRからも
応募出来ます!